

令和 6 年 1 月 2 6 日

交 通 事 故 概 況

令和 5 年 12 月 末 計 上 数 (確 定 数)

警 察 本 部 交 通 部 交 通 企 画 課

北海道の交通事故概況（12月末計上数（確定数））

1 令和5年12月中の交通事故発生状況

区分\内容	12月中	前年比	12月末	前年比
発生件数（件）	934	76	9,082	625
死者数（人）	12	6	131	16
傷者数（人）	1,121	125	10,601	816

[過去10年、12月中、12月末（年間死者数）の推移]

区分\年別	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	過去平均		R5年
											10か年	5か年	
12月中死者数	20	9	9	14	11	12	12	18	10	6	12	12	12
年間死者数	184	169	177	158	148	141	152	144	120	115	151	134	131

都道府県別（12月中）

順位	1	2	4	5	6
都道府県名	東京	千葉	福岡	埼玉	大阪
死者数	19	16	15	13	12

都道府県別（12月末）

順位	1	2	3	4	5
都道府県名	大阪	愛知	東京	北海道	千葉
死者数	148	145	136	131	127

2 交通死亡事故の発生状況

(1) 12月中の死亡事故（死者数12人）

- 事故類型別：人対車両が8人(66.7%)、車両単独が3人(25.0%)
- 道路別：市町村道が5人(41.7%)、国道が4人(33.3%)、道道が3人(25.0%)
- 地形・道路形状別：市街地交差点が4人(33.3%)、非市街地直線が3人(25.0%)
- 発生時間帯：12～14時が4人(33.3%)、16～18時が3人(25.0%)
- 第一当事者年齢別（第1当原付以上）：40歳代運転者が5人(41.7%)、高齢運転者が4人(33.3%)
- 第一当事者違反別（第1当原付以上）：前方不注意が10人(83.3%)
- 死者年齢別：高齢者の死者数が6人(50.0%)、40歳代が3人(25.0%)

(2) 12月末の死亡事故（死者数131人）

- 事故類型別：
 - ・人対車両が45人34.4%（うち前方不注意が23人51.1%、歩行者妨害が7人15.6%）
 - ・車両単独が39人29.8%（うち前方不注意が15人38.5%、最高速度が7人17.9%）
 - ・正面衝突が29人22.1%（うち前方不注意が18人62.1%、最高速度、操作不適が各々4人13.8%）
- 道路別：
 - ・国道が61人46.6%（うち正面衝突が20人32.8%、車両単独が18人29.5%）
 - ・市町村道が34人26.0%（うち人対車両が21人61.8%、車両単独が8人23.5%）
 - ・道道が29人22.1%（うち車両単独が9人31.0%、人対車両が7人24.1%）
- 地形・道路形状別：
 - ・市街地交差点が37人28.2%（うち人対車両が24人64.9%、車両単独が5人13.5%）
 - ・非市街地カーブが30人22.9%（うち正面衝突が19人63.3%、車両単独が10人33.3%）
- 発生時間帯：
 - ・10～12時が19人14.5%（うち正面衝突が9人47.4%、人対車両が4人21.1%）
 - ・16～18時が19人14.5%（うち人対車両が10人52.6%、車両単独が7人36.8%）
- 第一当事者年齢別（第1当原付以上）：
 - ・高齢運転者による死者数が37人28.2%（うち車両単独が15人40.5%、人対車両が11人29.7%）
 - ・40歳代運転者による死者数が27人20.6%（うち人対車両が15人55.6%、出会い頭が5人18.5%）
- 第一当事者違反別（第1当原付以上）：
 - ・前方不注意が59人45.0%（うち人対車両が23人39.0%、正面衝突が18人30.5%、車両単独が15人25.4%）
 - ・最高速度が12人9.2%（うち車両単独が7人58.3%、正面衝突が4人33.3%）
- 死者年齢別：
 - ・高齢者の死者数が58人44.3%（うち人対車両が29人50.0%、車両単独が16人27.6%）
 - ・50歳代の死者数が21人16.0%（うち車両単独が8人38.1%、人対車両、正面衝突が各々6人28.6%）
- シートベルト非着用者：

自動車乗車中の死者63人中、シートベルト非着用者は21人(33.3%)であり、そのうちの15人は、シートベルトを装着していれば助かった可能性が高い。

(3) 方面別発生状況

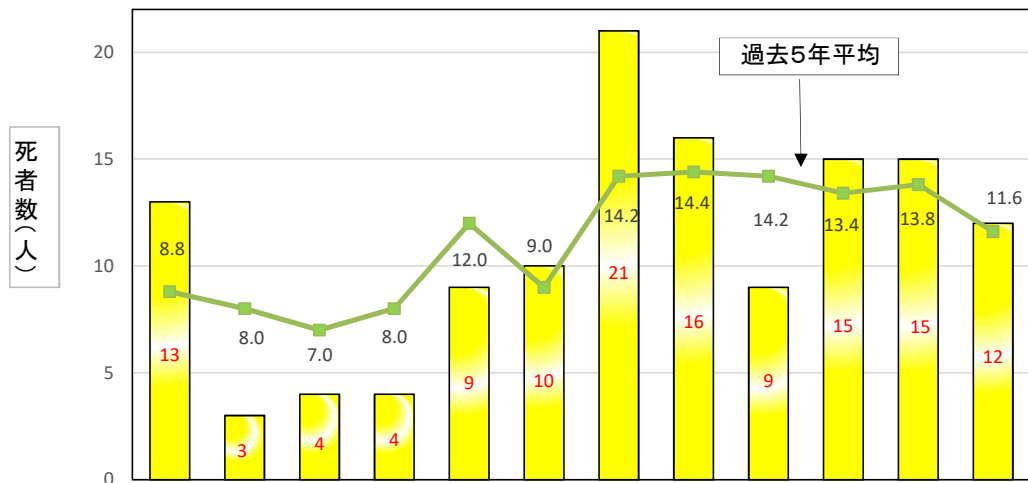
12月中の死者数は札幌方面が11人(91.7%)、釧路方面が1人(8.3%)となっている。
12月末の死者数は札幌方面が70人(53.4%)、釧路方面が22人(16.8%)、旭川方面が17人(13.0%)、函館方面が12人(9.2%)、北見方面が10人(7.6%)となっている。

方面別\区分		発生件数		死者数		傷者数	
			前年比		前年比		前年比
12月中	全 道	934	76	12	6	1,121	125
	札 幌 方 面	676	50	11	7	798	70
	函 館 方 面	56	10			71	17
	旭 川 方 面	98	17		-2	132	41
	釧 路 方 面	86	5	1	1	99	4
	北 見 方 面	18	-6			21	-7

方面別\区分		発生件数		死者数		傷者数	
			前年比		前年比		前年比
12月末	全 道	9,082	625	131	16	10,601	816
	札 幌 方 面	6,679	336	70	9	7,779	466
	函 館 方 面	561	-16	12	5	670	-14
	旭 川 方 面	725	46	17	-6	861	52
	釧 路 方 面	873	221	22	4	994	263
	北 見 方 面	244	38	10	4	297	49

(4) 月別発生状況の推移

12月中の死者数は12人で過去5年平均11.6人を上回っている。
12月末の死者数は131人で過去5年平均134.4人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和5年	13	3	4	4	9	10	21	16	9	15	15	12	131
年間累計	13	16	20	24	33	43	64	80	89	104	119	131	
過去5年平均	8.8	8.0	7.0	8.0	12.0	9.0	14.2	14.4	14.2	13.4	13.8	11.6	134.4
累計平均	8.8	16.8	23.8	31.8	43.8	52.8	67.0	81.4	95.6	109.0	122.8	134.4	

(5) 都道府県別死者数

12月中は東京都が19人で最も多く、次いで千葉県、福岡県が各々16人、埼玉県が15人、大阪府が13人、北海道は12人で6位となっている。

12月末は大阪府が148人で最も多く、次いで愛知県が145人、東京都が136人、北海道が131人、千葉県が127人となっている。

区分\都道府県	東京	千葉	福岡	埼玉	大阪	北海道	兵庫	愛知	神奈川	三重	全国
12月中死者数	19	16	16	15	13	12	12	11	11	10	300
ワースト順位	1	2	2	4	5	6	6	8	8	10	—
前年比	3	4	6	6	0	6	1	-2	-1	3	20
増減率(%)	18.8	33.3	60.0	66.7	0.0	100.0	9.1	-15.4	-8.3	42.9	7.1

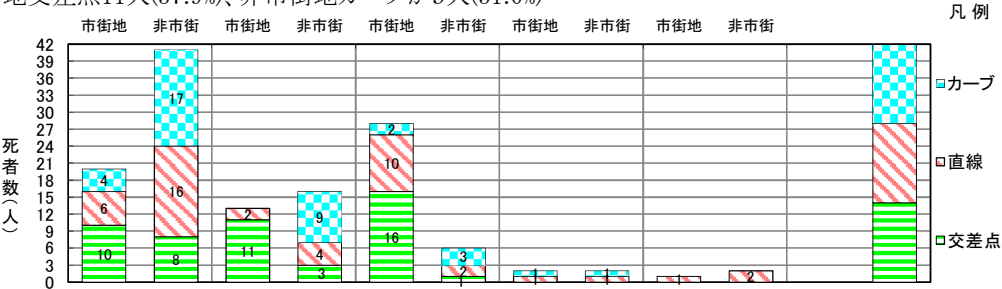
区分\都道府県	大阪	愛知	東京	北海道	千葉	埼玉	神奈川	福岡	兵庫	茨城	全国
12月末死者数	148	145	136	131	127	122	115	103	103	93	2,678
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	8	8	10	—
前年比	7	8	4	16	3	18	2	28	-17	2	68
増減率(%)	5.0	5.8	3.0	13.9	2.4	17.3	1.8	37.3	-14.2	2.2	2.6

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

国道が61人(46.6%)、次いで市町村道が34人(26.0%)、道道が29人(22.1%)となっている。

- ・ 国道は非市街地カーブが17人(27.9%)、非市街地直線が16人(26.2%)
- ・ 市町村道は市街地交差点が16人(47.1%)、市街地直線が10人(29.4%)
- ・ 道道は市街地交差点11人(37.9%)、非市街地カーブが9人(31.0%)

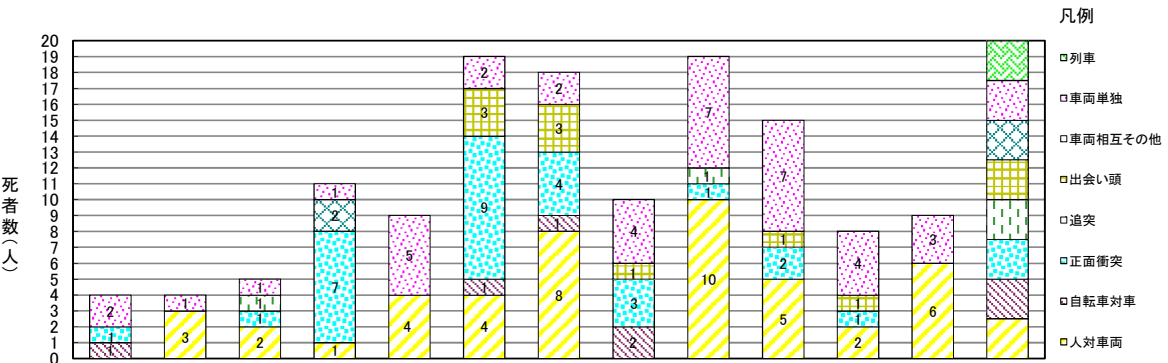


区分\道路別	国 道	道 道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死 者 数	61	29	34	4	3	131
構 成 率 (%)	46.6	22.1	26.0	3.1	2.3	100.0
過去5年構成率	39.9	23.0	30.2	2.4	4.5	100.0

(2) 時間別

10～12時及び16～18時が各々19人(14.5%)となっている。

- ・ 10～12時は正面衝突が9人(47.4%)、人対車両が4人(21.1%)
- ・ 16～18時は人対車両が10人(52.6%)、車両単独が7人(36.8%)

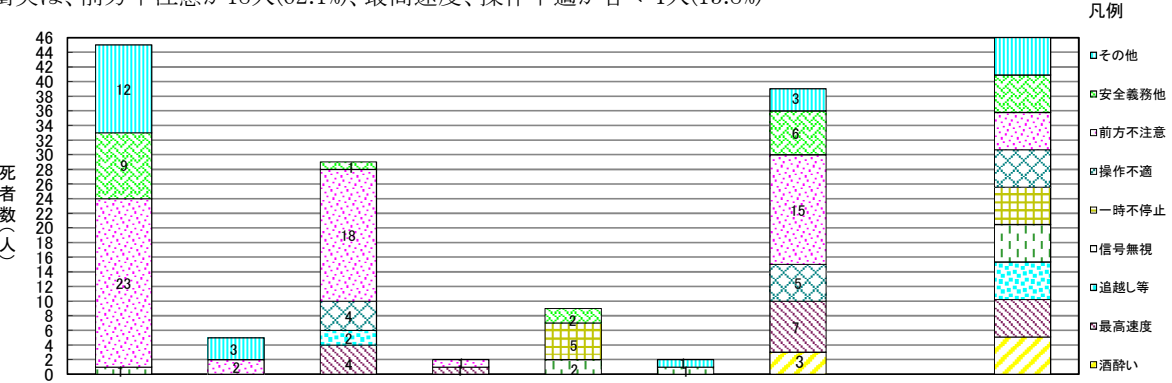


区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死 者 数	4	4	5	11	9	19	18	10	19	15	8	9	131
構 成 率 (%)	3.1	3.1	3.8	8.4	6.9	14.5	13.7	7.6	14.5	11.5	6.1	6.9	100.0
過去5年構成率	3.6	3.5	3.9	7.3	10.1	13.7	11.9	12.7	14.7	9.2	5.1	4.2	100.0

(3) 事故類型別

人対車両が45人(34.4%)、次いで車両単独が39人(29.8%)、正面衝突が29人(22.1%)となっている。

- ・ 人対車両は、前方不注意が23人(51.1%)、歩行者妨害(その他に含まれる)が7人(15.6%)
- ・ 車両単独は、前方不注意が15人(38.5%)、最高速度が7人(17.9%)
- ・ 正面衝突は、前方不注意が18人(62.1%)、最高速度、操作不適が各々4人(13.8%)



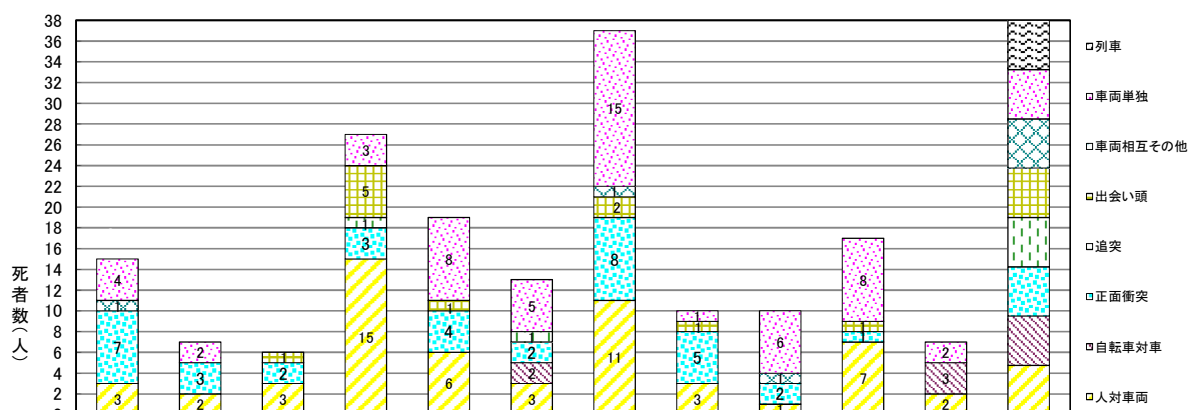
類型別	人対車両	自転車対車	車 両 相 互	列 車	計
死 者 数	45	5	29	2	131
構 成 率 (%)	34.4	3.8	22.1	1.5	100.0
過去5年構成率	30.7	5.4	17.7	2.6	100.0

(4) 第一当事者の年齢層別

高齢運転者が37人(28.2%)、次いで40歳代の運転者が27人(20.6%)となっている。

- ・ 高齢運転者は、車両単独が15人(40.5%)、人対車両が11人(29.7%)
- ・ 40歳代の運転者は、人対車両が15人(55.6%)、出会い頭が5人(18.5%)

凡例

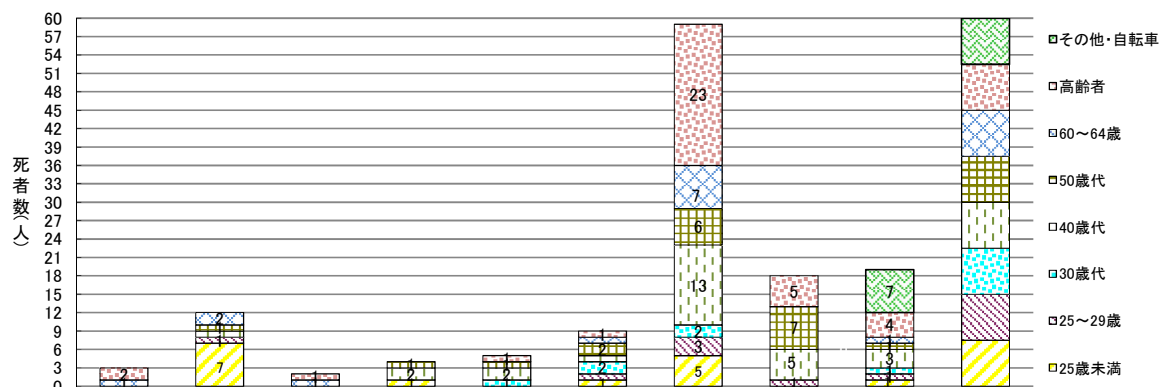


(5) 第一当事者の違反(原因)別

前方不注意によるものが59人(45.0%)、次いで最高速度によるものが12人(9.2%)となっている。

- ・ 前方不注意は、高齢運転者が23人(39.0%)、40歳代の運転者が13人(22.0%)
- ・ 最高速度は、25歳未満が7人(58.3%)

凡例

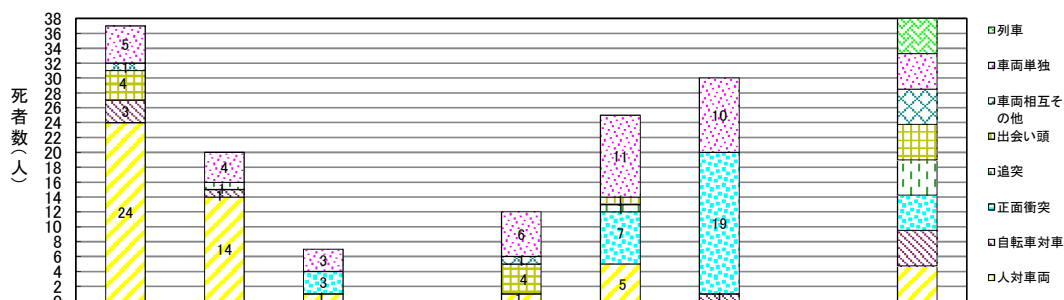


(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が37人(28.2%)、次いで非市街地カーブが30人(22.9%)となっている。

- ・ 市街地交差点は、人対車両が24人(64.9%)、車両単独が5人(13.5%)
- ・ 非市街地カーブは、正面衝突が19人(63.3%)、車両単独が10人(33.3%)

凡例

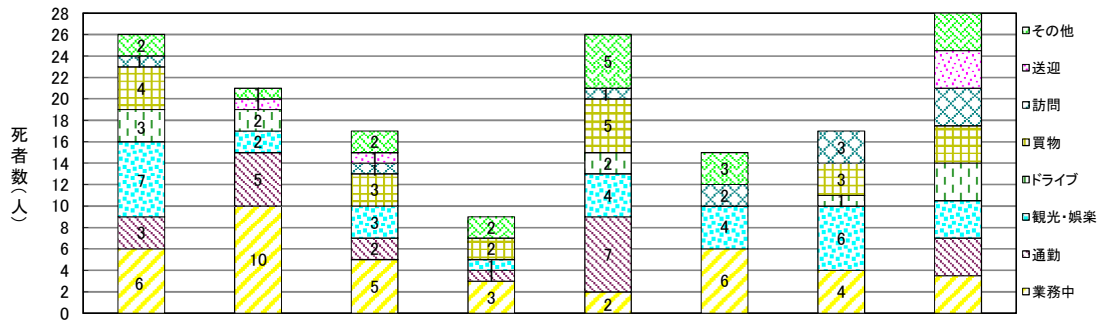


(7) 曜日別

日曜日及び木曜日が各々26人(19.8%)となっている。

- ・ 日曜日は、観光・娯楽が7人(26.9%)、業務が6人(23.1%)
- ・ 木曜日は、通勤が7人(26.9%)、買物が5人(19.2%)

凡例



区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	26	21	17	9	26	15	17	131
構成率(%)	19.8	16.0	13.0	6.9	19.8	11.5	13.0	100.0
過去5年構成率	16.6	13.0	13.7	14.8	15.7	13.3	12.8	100.0

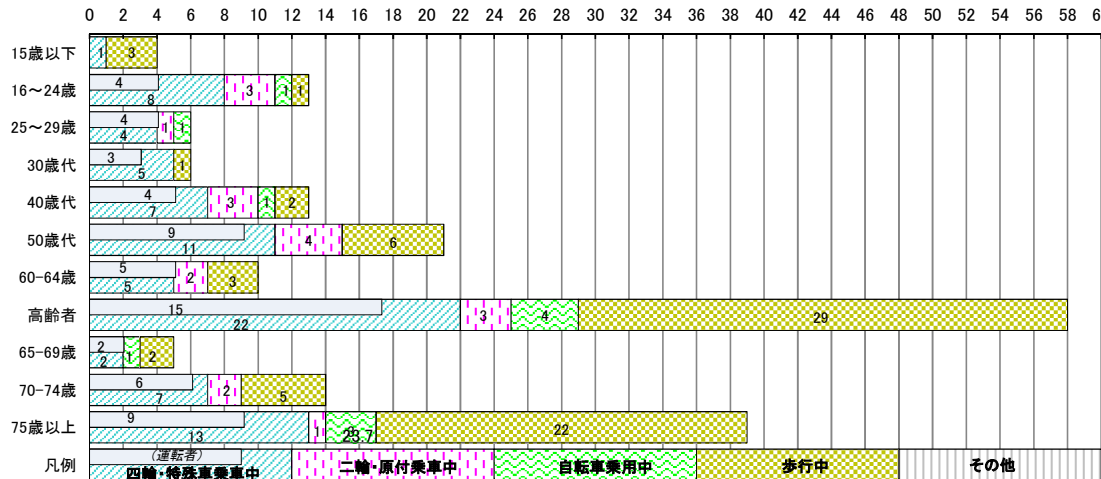
(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者の死者数が58人(44.3%)で、うち75歳以上が39人(67.2%)となっている。

四輪乗車中の死者数が63人(48.1%)、次いで歩行中の死者数が45人(34.4%)となっている。

- ・ 四輪乗車中の年齢層別死者数は、高齢者の死者数が22人(34.9%)、50歳代の死者数が11人(17.5%)
- ・ 歩行中の年齢層別死者数は、高齢者の死者数が29人(64.4%)、50歳代の死者数が6人(13.3%)

死者数(人)



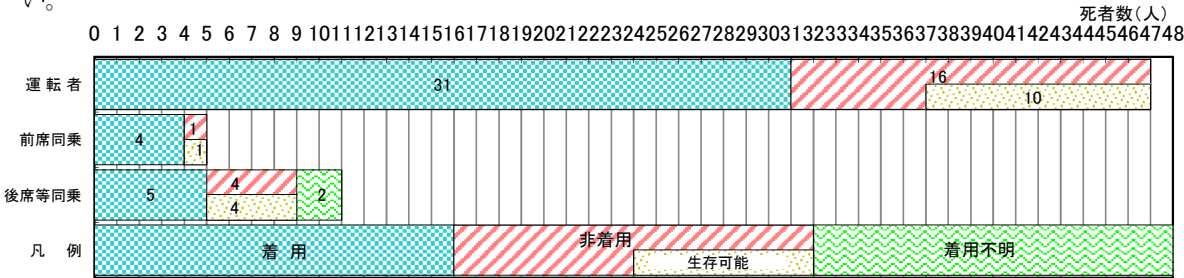
状態別 年齢層別		四輪乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中 (一般原付及び特定原付を含む)	自転車乗用中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
15歳以下	死者数	1	0	0	3	0	4	3.1	0.3
16~24歳	死者数	8	3	1	1	0	13	9.9	4.7
25~29歳	死者数	4	1	1	0	0	6	4.6	4.1
30歳代	死者数	5	0	0	1	0	6	4.6	3.0
40歳代	死者数	7	3	1	2	0	13	9.9	5.7
50歳代	死者数	11	4	0	6	0	21	16.0	9.7
60~64歳	死者数	5	2	0	3	0	10	7.6	12.4
高齢者	死者数	22	3	4	29	0	58	44.3	34.3
65~69歳	死者数	2	0	1	2	0	5	3.8	7.6
70~74歳	死者数	7	2	0	5	0	14	10.7	8.3
75歳以上	死者数	13	1	3	22	0	39	29.8	10.3
計	死者数	63	16	7	45	0	131	100.0	
	構成率	48.1	12.2	5.3	34.4	0.0	100.0	—	—
	過去5年構成率	48.3	13.3	6.8	31.1	0.5	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者63人中、シートベルト非着用者は21人(33.3%)となっている。
非着用者の21人のうち15人は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



状態別 区分	四輪 乗車中 等	着 用					非 着 用					着 用 明 不 明
		計	運 転 者	同 乗 者		計	運 転 者	同 乗 者 (助 手 席)		同 乗 者 (後 部 席)		
				助手席	後部席			生存可	生存可		生存可	
令和5年	63	40	31	4	5	21	16	10	1	1	4	2
構成率 (%)	100.0	63.5	77.5	10.0	12.5	33.3	76.2	62.5	4.8		19.0	3.2

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が8人(38.1%)、50歳代、60～64歳が各々3人(14.3%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
シートベルト着用	7	2	4	5	6	2	14	2	4	8		40
構成率(%)	17.5	5.0	10.0	12.5	15.0	5.0	35.0	5.0	10.0	20.0		100.0
シートベルト非着用	2	2	1	2	3	3	8		3	5		21
構成率(%)	9.5	9.5	4.8	9.5	14.3	14.3	38.1		14.3	23.8		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。
着用不明を除く。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者21人の損傷加害部位をみると室内他が5人(23.8%)、座席が4人(19.0%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明
シートベルト着用			12	2	1	5	1	3	4	9	1	2
構成率(%)			30.0	5.0	2.5	12.5	2.5	7.5	10.0	22.5	2.5	5.0
シートベルト非着用	1	1	2		1			3	4	5	1	3
構成率(%)	4.8	4.8	9.5		4.8			14.3	19.0	23.8	4.8	14.3
運転者		1	2		1			3	1	4	1	3
構成率(%)		4.8	9.5		4.8			14.3	4.8	19.0	4.8	14.3
同乗者	1								3	1		
構成率(%)	4.8								14.3	4.8		

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。
着用不明を除く。

4 冬型交通死亡事故の発生状況(計上月基準)

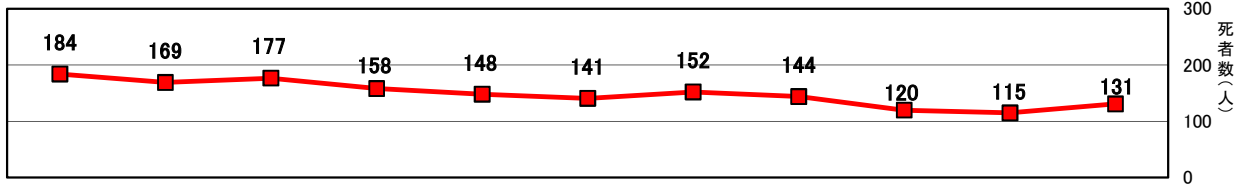
冬型事故の令和4年度及び5年度(ここでは令和4年11月～令和5年12月)の計上は次のとおり。

年度区分		死者数					
		11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度	死亡事故	15	12				27
	冬型事故	3	1				4
	スリップ	3	1				4
	視界不良						
	わだち						
令和4年度	死亡事故	13	6	13	3	4	39
	冬型事故		4	3	2		9
	スリップ		4	1	2		7
	視界不良			2			2
	わだち						

5 過去10年間の推移（各年12月末死者数）

(1) 死者数の推移

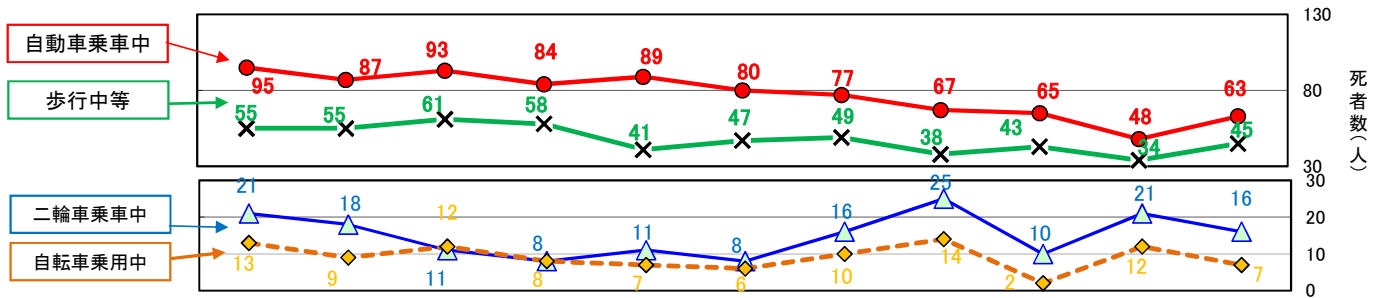
平成25年以降は、長期的に減少傾向で推移していたが、令和5年は前年より増加し131人となっている。



年別	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
死者数	184	169	177	158	148	141	152	144	120	115	131

(2) 状態別

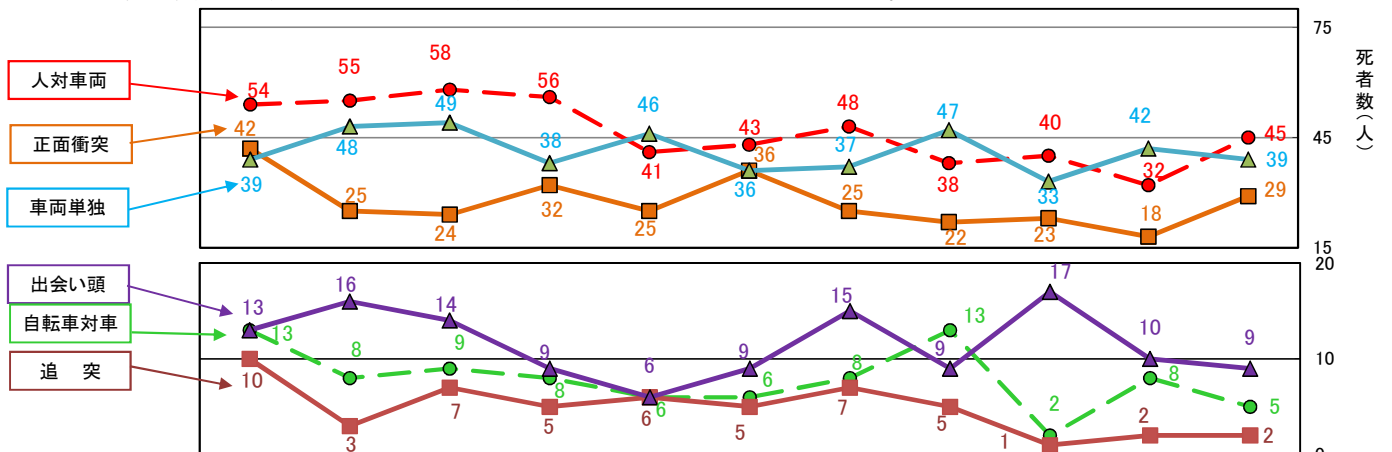
- 自動車乗車中（二輪を除く）は、減少傾向であったが、令和5年は前年比+15人となっている。
- 歩行中等は、増減を繰り返しながら推移していたが、令和5年は前年比+11人となっている。
- 二輪乗車中は、令和4年は21人、令和5年は前年比-5人の16人となっている。
- 自転車乗用中は、令和4年は12人、令和5年は前年比-5人の7人となっている。



年別	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
自動車乗車中	95	87	93	84	89	80	77	67	65	48	63
二輪乗車中	21	18	11	8	11	8	16	25	10	21	16
自転車乗用中	13	9	12	8	7	6	10	14	2	12	7
歩行中等	55	55	61	58	41	47	49	38	43	34	45
合計	184	169	177	158	148	141	152	144	120	115	131

(3) 事故類型別

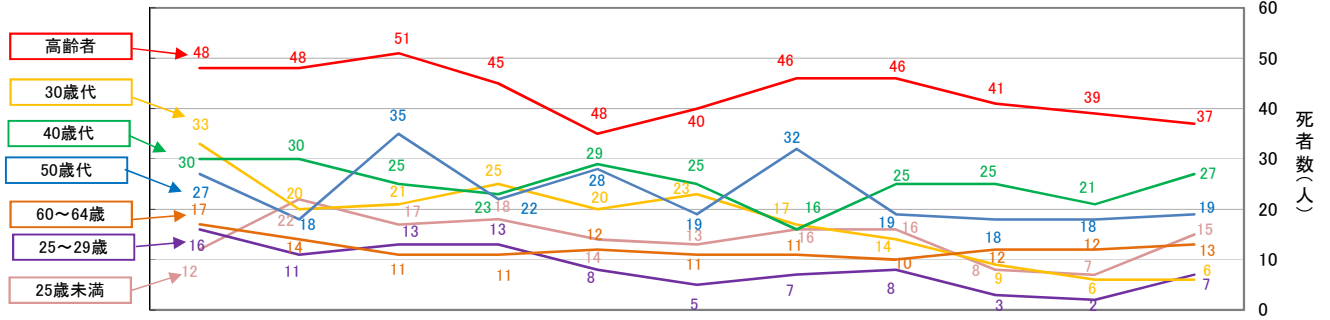
- 人対車両は、増減を繰り返しているが、令和5年は前年比+13人と過去10年で最大の増加となっている。
- 正面衝突は、減少傾向で推移していたが、令和5年は反転し、前年比+11人の増加となっている。
- 車両単独は、増減を繰り返しており、令和5年は前年比-3人となっている。
- 出会い頭は、令和3年が最も多く、令和5年は前年比-1人となっている。
- 自転車対車は、過去10年平均でおよそ8人となっている。
- 追突は、直近3年では2人以下と過去10年の傾向をみても低水準となっている。



年別	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
人対車両	54	55	58	56	41	43	48	38	40	32	45
自転車対車	13	8	9	8	6	6	8	13	2	8	5
正面衝突	42	25	24	32	25	36	25	22	23	18	29
追突	10	3	7	5	6	5	7	5	1	2	2
出会い頭	13	16	14	9	6	9	15	9	17	10	9
車両相互その他	12	14	15	7	17	6	11	10	2	2	2
車両単独	39	48	49	38	46	36	37	47	33	42	39
列	1	0	1	3	1	0	1	0	2	1	0
合計	184	169	177	158	148	141	152	144	120	115	131

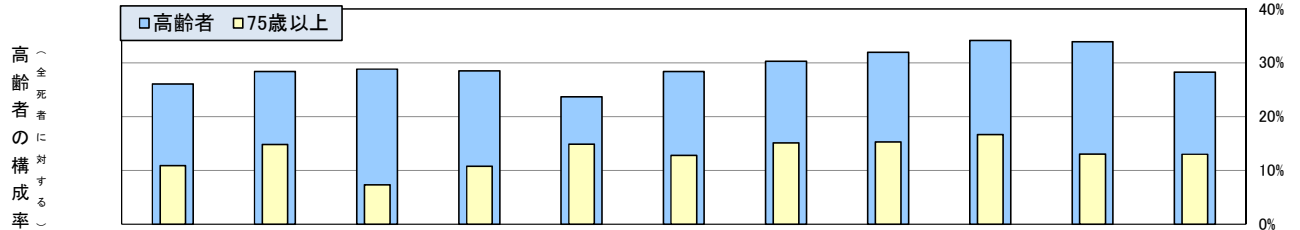
(4) 第一当事者年齢層別

令和5年は、過去10年間の傾向から見ると40歳代、25～29歳、25歳未満の年代の増加が目立っている。



	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
25歳未満	12	22	17	18	14	13	16	16	8	7	15
25～29歳	16	11	13	13	8	5	7	8	3	2	7
30歳代	33	20	21	25	20	23	17	14	9	6	6
40歳代	30	30	25	23	29	25	16	25	25	21	27
50歳代	27	18	35	22	28	19	32	19	18	18	19
60～64歳	17	14	11	11	12	11	11	10	12	12	13
高齢者	48	48	51	45	35	40	46	46	41	39	37
75歳以上	(20)	(25)	(13)	(17)	(22)	(18)	(23)	(22)	(20)	(15)	(17)
歩行者自転車等	1	6	4	1	2	5	7	6	4	10	7
合計	184	169	177	158	148	141	152	144	120	115	131

1 当高齢運転者による死者数を構成率でみると増減を繰り返しているが、令和5年は5年ぶりに30%以下となった。75歳以上はおおよそ過去10年の平均値13.1%の近似値となっている。

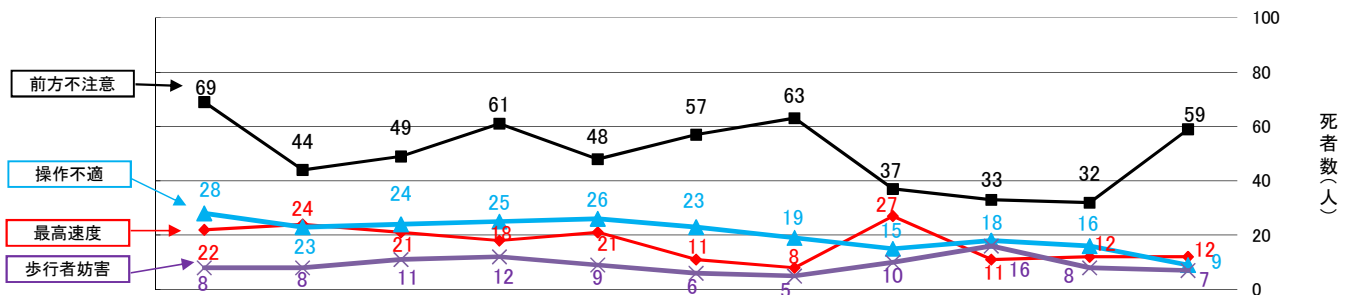


	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
高齢者	26.1%	28.4%	28.8%	28.5%	23.6%	28.4%	30.3%	31.9%	34.2%	33.9%	28.2%
75歳以上	10.9%	14.8%	7.3%	10.8%	14.9%	12.8%	15.1%	15.3%	16.7%	13.0%	13.0%

(5) 主な違反(原因)別

- 前方不注意は、令和2年以降は低水準で推移していたが、令和5年は前年比+27人と大幅に増加している。
- 操作不適は、長期的な減少傾向にあり、令和5年は過去最低の9人となっている。
- 最高速度は、令和2年に大幅に増加したが、その後は、10人強で推移している。
- 歩行者妨害は、令和3年は16人であるが、ほかは、おおよそ10人前後で推移している。

※記事及びグラフは主なものを記載しています。

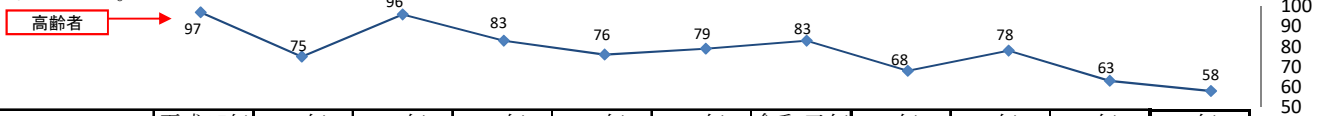


	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
酒酔い	5	11	5	0	0	0	0	1	1	0	3
最高速度	22	24	21	18	21	11	8	27	11	12	12
追越、通行区分	3	2	1	5	1	1	3	6	3	3	2
歩行者妨害	8	8	11	12	9	6	5	10	16	8	7
信号無視	5	6	5	4	3	1	7	3	7	4	4
一時不停止	9	8	12	4	3	7	6	7	6	3	5
過労運転	1	1	0	0	1	0	0	0	3	2	0
操作不適	28	23	24	25	26	23	19	15	18	16	9
前方不注意	69	44	49	61	48	57	63	37	33	32	59
動静不注意	0	2	4	1	4	0	2	0	0	2	2
安全不確認	2	5	7	5	7	5	3	3	5	5	8
安義その他	3	1	9	9	8	6	8	12	3	8	8
その他	29	30	26	13	15	19	21	17	10	11	5
歩行者自転車	0	4	3	1	2	5	7	6	4	9	7
合計	184	169	177	158	148	141	152	144	120	115	131

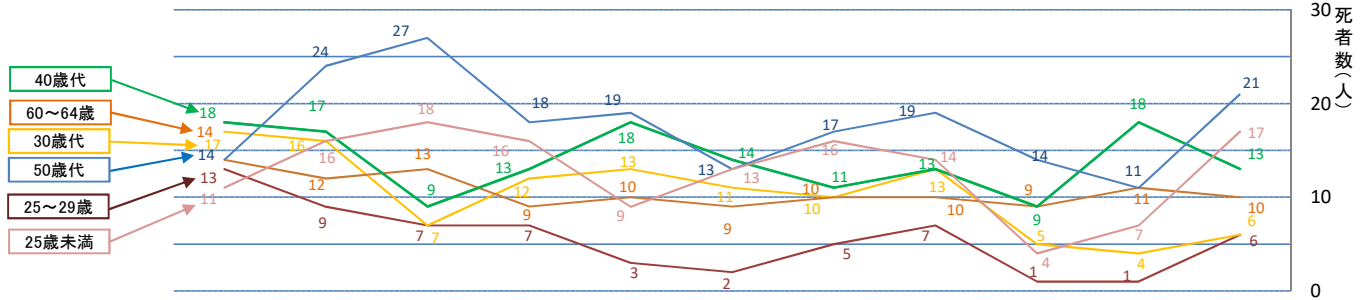
(6) 死者の年齢層別

平成25年以降、長期的には減少傾向となっている。

令和5年は、高齢者の死者数、割合ともに減少したが50歳代、25～29歳、25歳未満の死者数が大きく増加し、前年から+16人と



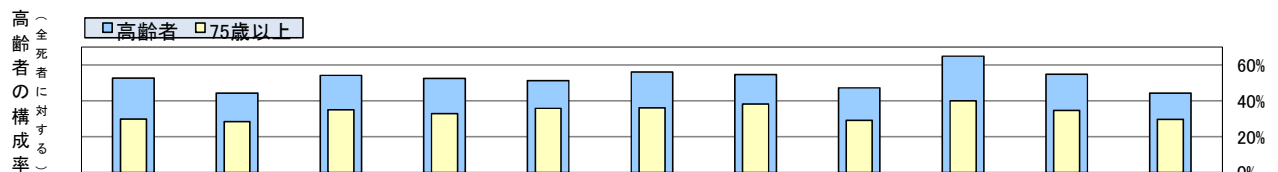
	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
高 齢 者	97	75	96	83	76	79	83	68	78	63	58
75歳以上	(55)	(48)	(62)	(52)	(53)	(51)	(58)	(42)	(48)	(40)	(39)



	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
25 歳 未 満	11	16	18	16	9	13	16	14	4	7	17
25 ～ 29 歳	13	9	7	7	3	2	5	7	1	1	6
30 歳 代	17	16	7	12	13	11	10	13	5	4	6
40 歳 代	18	17	9	13	18	14	11	13	9	18	13
50 歳 代	14	24	27	18	19	13	17	19	14	11	21
60 ～ 64 歳	14	12	13	9	10	9	10	10	9	11	10
高 齢 者	97	75	96	83	76	79	83	68	78	63	58
75歳以上	(55)	(48)	(62)	(52)	(53)	(51)	(58)	(42)	(48)	(40)	(39)

合 計	184	169	177	158	148	141	152	144	120	115	131
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

高齢者(75歳以上を含む)の死者数を構成率でみると、50%を下回ったものの全体としては高水準にある。



	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
高 齢 者	52.7%	44.4%	54.2%	52.5%	51.4%	56.0%	54.6%	47.2%	65.0%	54.8%	44.3%
75歳以上	29.9%	28.4%	35.0%	32.9%	35.8%	36.2%	38.2%	29.2%	40.0%	34.8%	29.8%